

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
相談援助 Social Work		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(保育士養成課程必修)	こどもフィールド対象
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
保育士養成課程科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育士養成課程科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
秋山真奈美	講義棟3階	火・土・授業時間を除く		授業中に指示します
授業の概要				
相談及び援助は日常的に行われる活動かもしれない。しかし、“よい相談”“専門的な援助”となると、心構えや技術が必要になってくる。この授業では相談援助の基本を学び、事例分析を通して具体的な展開を考案していく。				
授業の目標				
①相談援助の概要を理解し、一助となる解決方法について考案できるようにする。 ②相談援助の技法について学び、行動化できるようにする。 ③事例分析を通じて、相談援助を具体的に展開できるようにする。 ④発達障害を持つ対象に対し、心理学的知見を用いて学習・生活支援の勘所が押さえられるようになる。				
授業の方法				
講義の他、ディスカッションやグループワーク、事例検討会を含む。				
学習の成果（学習成果）				
(1)発達に関する知識を現実場面で活用できるよう、学んだことと身近な事象とを結び付けることができる。 (2)生涯発達の視点を有し、対象の状態に応じた支援についての心構えを持つことができる。 (3)保育の専門家としての知見に、心理学的知識を根拠として挿入できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション：授業の方法と計画の説明 子育て支援のあり方			
第2回目	保護者との相互理解：信頼関係の形成 バイステックの7原則			
第3回目	保護者との相互理解：来談者のニーズと相談支援 保育ソーシャルワーク			
第4回目	事例の理解：アセスメントの重要性 インテーク ジェノグラム			
第5回目	事例の理解：記録 評価 カンファレンス			
第6回目	職員間の連携と協働：組織の取り組み スーパービジョン コンサルテーション			

第7回目	発達障害児への心理学的支援：自閉症スペクトラム児への支援	
第8回目	発達障害児への心理学的支援：自閉症スペクトラム児（高機能型）への支援	
第9回目	発達障害児への心理学的支援：学習障害児への援助	
第10回目	発達障害児への心理学的支援：注意欠陥多動性障害児への援助	
第11回目	家族と家庭：子育て家庭をめぐる現代の社会的状況	
第12回目	家族と家庭：家庭の意義と機能 子育て経験 親としての育ち	
第13回目	家族と家庭：家族カウンセリング 日常場面での保護者支援	
第14回目	子どもの精神保健とその課題：子どもの生活・生育環境とその影響	
第15回目	子どもの精神保健とその課題：子どもの子の健康を支える	
事前・事後学習	各回ワークで行った内容は、日頃試してみることで受講者のコミュニケーション力を底上げしていくので、身近な対象との交流の際に使い、相談技量を向上させること。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	他者の話に真剣に耳を傾け、また、積極的にディスカッション・グループワークに参加し、講義や発表への疑問については臆さず質問すること。
レポート	60%	各演習のワークシートでの考察を採点対象とする。対人援助職としての自覚を持ち、演習の主旨に沿いつつ、自分なりの意見が書かれていること。
調査報告書		
小テスト		
試験	20%	多問型と論述型を組み合わせた試験なので、講義をよく聴き、万遍無く勉強しておくこと。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
教科書：「子育て支援」（中央法規）。参考書・資料は初回授業はじめ各回授業で随時紹介する。		
履修上の留意点・ルール		
本教科は演習科目であるので、講義科目以上に主体的に参加することを期待する。私語・居眠り・授業に無関係の行動・不参加は「授業参加態度」において減点の対象とする。		